特別警報・暴風警報など発表時における対応・措置について

2020年4月9日

岐阜市立徹明さくら小学校

1 警報発令時における休業及び登下校について

(1) 児童が登校する前に警報・特別警報(いかなる警報であっても)が発表されている場合

- ① 警報が解除されるまで家庭で待機する。
- ② 始業1時間前(7時15分)までに警報が解除された場合、平常どおり登校する。
- ③ 始業1時間前から正午までに警報が解除された場合、解除後1時間経過してから、登校する。
- ④ 正午を過ぎてから警報が解除された場合、休業とする。
- ⑤ 行事等で午前授業の日は始業時刻(8時15分)に警報が発表されている場合、休業とする。
※ただし、②や③において道路や家屋の倒壊などで危険な場合、無理に登校しない。

(2) 児童が登校した後(学校にいる場合)に警報・特別警報が発表された場合

- ① 警報発表時の気象状況、道路や交通の状況を判断して、児童を安全に帰宅させることができる
と判断した場合、速やかに下校させる。
- ② 気象状況により、警報発表前の注意報の段階での集団下校の措置をとる場合もある。
- ③ 帰宅が困難な場合、校内で児童を待機させる。安全が確保された時点で、集団下校や引き渡し
カードにもとづく保護者の出迎え措置をとる。

2 その他の緊急時の措置について

- (1) 洪水・大雨・大雪注意報等についても情報の収集に努め、学年下校や集団下校、保護者の出迎
え措置をとることがある。
- (2) 気象状況により休業等の対応が必要な場合、休業予定日の前々日の正午までに給食中止を教育
委員会が決定して、学校に連絡が入る。学校はそれを受け保護者に連絡する。
- (3) 不審者徘徊など防犯上の緊急時の場合、集団下校の措置をとる。この時、PTA役員や自治会
組織を通して、下校寄り添いの要請に努める。
- (4) 緊急時の場合、配信システムやHPなど情報伝達を複線化して保護者に周知する。
- (5) 特別警報や大地震の場合、避難勧告が出て学校が避難所になることもあり、必ずしも下校させ
るとは限らない。安否確認を優先し、関係機関と連携して適切な対応、連絡を行う。

3 お願い

警報などが発表された場合、保護者は平時と連絡先が異なる時は担任へ確実に伝わるようにす
る。保護者は学校からの配信システムの登録に努める。